
令和7年度第3回東海村男女共同参画推進委員会（会議録）

1 日 時 令和8年2月19日（木） 18:30～20:00

2 場 所 東海村役場 101会議室

3 出席者

- ▼東海村男女共同参画推進委員会 6名 欠席：渡部委員
- ▼池田村民生活部長
- ▼村民活動支援課 4名

4 あいさつ（男女共同参画推進委員 高橋委員長）

- ・お忙しいところお集まりいただき感謝する。
- ・本日は令和7年度男女共同参画推進委員会の最終の会議である。第6次男女共同参画行動計画の最終的な案の承認と男女共同参画推進事業所の認定について審議をしていきたい。皆さんに忌憚のない意見をいただきながら、進めていきたい。

池田村民生活部長

- ・本日は、第3回男女共同参画推進委員会にお集まりいただき感謝する。また、委員の皆様には、日頃から本村の行政運営に御理解・御協力いただき、感謝する。
- ・先日のオリンピックのフィギュアスケートで金メダルを獲得したペアは、男性が女性を支える、女性が男性を支えるという関係性ではなく、お互いが支え合っている関係性であると感じた。女性選手は精神面でも中心的な存在に見え、男性選手には繊細な表現力があり、男性イコール力、女性イコール美しさという単純な図式を超えて、性別や役割を超えた技術と表現、対等な立場でのパートナーシップ、互いの強みを尊重し合う関係性といった点から、男女共同参画やダイバーシティの価値観との調和を感じた。
- ・今回の会議では、4つの事業所から応募があった男女共同参画推進事業所について審議をいただくとともに、本委員会で多角的な検討を重ね、庁内連絡会議や住民へのパブリックコメントの手続きを実施し、慎重に内容を精査してきた「第6次東海村男女共同参画行動計画」の最終案を示させていただくので、承認を賜りたい。なお承認後は、委員長と副委員長に村長へ答申していただき、その答申を受け、村は年度内に計画を最終決定し、次年度からの円滑な施策展開へとつなげていく。限られた時間ではあるが、委員の皆様には忌憚のない意見を願います。

5 議事（進行：高橋委員長）

(1) 令和7年度男女共同参画推進事業所の認定について・・・資料No.1

資料について事務局から説明を行い、質疑応答・意見交換。

(主な意見) ⇒: 事務局回答

- ・建設現場に男女別トイレを設置することはいい取り組みだと思う。ひと昔前の建設現場とは変わってきている印象を受ける。建設業者のヒアリング内容は類似しているが、業界全体で横並びに上がってきていると感じる。
 - ・ヒアリング項目のうち非該当の内容は何か。
- ⇒事業所ごとに該当になっている項目に多少違いはあるが、4事業所とも非該当だった項目は、「家族のために休暇が取得できる制度がある(誕生日や記念日の休暇など)」、「幼稚園や保育園の、残業時の延長保育料などを助成している」、「1時間単位での有給休暇が取得できる」、「イクボス宣言を行っている」の4点。
- ・建設業でフレックスタイム制が導入されていない点が気になる。
 - ・推進事業所の新規認定について、認定されていない事業所の中から無理やり認定しようとしている印象で、これまでに認定された事業所の取組内容と温度差はないのか。応募する事業者には、これまでの認定事業所の取組内容を共有しているのか。
 - ・「結婚しても働き続けられる」に該当するが、女性で結婚した社員がまだいない、「意欲のある社員や職員に積極的にチャンスを与えている」に該当するが、女性管理職はまだいないといったヒアリング結果であり、女性が働きやすくなっていく途中だと思われる。認定後のフォローはないのか。
- ⇒認定後のフォローは実施していない。
- ・親の最期を看取りたいという希望で、介護休暇を取得させたという事例について、これからはそうしたことも出てくるだろうと思った。
 - ・子連れ出勤の事例について聞きたい。
- ⇒20数年前に、子連れ出勤をした事務職が1名いた。

(2) 第6次東海村男女共同参画推進行動計画(案)について

・・・資料No. 2, 資料No. 2-①, 資料No. 2-②

資料について事務局から説明を行い、質疑応答・意見交換。

(主な意見)

- ・聞いたことのない村の事業も解説している用語解説のページは助かる。
- ・統計データは参考になる。
- ・よくまとまっていると思う。

6 その他

●2年間の任期終了に際し、意見交換。

- ・委員会の活動に参加し、村の事業を知ることができ、生活のなかで気になる点を意見として言う機会を提供していただき、ありがたかった。
- ・会議で瞬時に意見を出すことはできなかったが、村民としてこうした場所に身を置け

たことは貴重な機会だった。

- ・委員の活動に参加することで、男女共同参画を意識して生活することができた。村民の隅々まで男女共同参画の意識を持ってもらうために委員の活動があると思う。今回で終了する委員の皆さんには、今後は職場や生活のなかで男女共同参画を周囲に広めていってほしい。
- ・男女共同参画について勉強になった。
- ・女性の多い職場で、その強みを生かすための制度をつくってきた。環境が変わっていくなかで、バランスを見て、女性ばかりにも、男性ばかりにもとならないように気を付けていきたい。
- ・管理職は男性が多いが、経験年数は女性が長く、現場は女性がメインの職場で働いているが、お互いに切磋琢磨していると感じている。

●議事録について

議事録は、委員へメールで配信し、確認後に村公式ホームページに掲載する。